



関ロータークラブ

URL <http://www.seki-rc.org/> E-mail seki-rc@abelia.ocn.ne.jp
TEL (0575)22-9332 FAX(0575)22-9977

RID2630 ROTARY CLUB OF SEKI ■会長 今峰 徹 ■副会長 大澤竜一 ■幹事 池村真一郎



2016~17 年度国際ローターテーマ
「人類に奉仕するローター」 ROTARY SERVING HUMANITY
RI 会長 ジョンF. ジャーム
2016~17 年度 関ロータークラブテーマ
「おもいやり」 第51代会長 今峰徹

第 2432 号 平成 28 年 9 月 27 日 (火)

前例会の記録・第 2431 回 9 月 20 日(火)12:30

- 「旅の失敗談」パスト会長卓話 亀井高利さん
- ◆開会点鐘
- ◆「それでこそローター」斉唱
- ◆会長挨拶



皆様こんにちは
本日亀井高利パスト会長の卓話です。「ローターの基本と品格を考えよう」とのことで「品格あるローター」を提唱され、また「入りたいローターではなく、入りたいローターにしよう」ということも言われました。7月は長良川河畔“鶴匠の家 すぎ山”屋上での花火大会鑑賞。12月は下呂温泉“湯之島館”で家族例会と年次総会をかねてされ、親睦旅行は京都の料亭など記憶に残る

事業をされた会長です。それでは亀井パスト会長、よろしくお願ひします。

- ◆9月2日に開催されましたガバナー公式訪問例会で、30年以上100%例会出席者の表彰がありました。当クラブからは、山村誠示さんと早川力さんが表彰されました。当日欠席された、早川先生に表彰状が届いておりますので、授与させていただきます。



◆委員会報告

◎出席委員会 委員長 西本理美
会員47名中 出席28名 出席率 62.22%

◎ニコボックス委員会 委員長 古田貴巳
会長・副会長・幹事の皆さん・・・本日は、パスト会長卓話という事で、亀井パスト会長に卓話をお願いしております。本日のテーマは、「旅の失敗談」よろしくお願ひ致します。

山村、長村、野口、佐藤、酒井、清水(善)、杉浦、土屋、加藤(浩)、三輪、古田、林(昇)、山谷、岩倉、尾崎、西本の皆さん・・・亀井さんの会員卓話大変楽しみにしていました。台風も押しやる話、期待しております。

早川力さん・・・2630地区より、30年以上皆出席の表彰をいただきました。どうもありがとうございます。

尾崎嘉彦さん・・・9/2私のバースデーにカードをいただきまして、ありがとうございます。

◆「旅の失敗談」パスト会長卓話 亀井高利さん



私は、旅行はビジネスにしろ観光にしろ一人旅が本当の意味での旅行だと思っています。それは国内旅行でも海外旅行でもちょっとしたドライブでも変わりありません。もちろん、家族旅行や気の合った友人と出かけるのも楽しいものと思っていますが”旅”というのはやはり一人で行動するのが本物の旅だと

考えます。団体旅行というのは集団の人間関係がそのまま移動しているだけと本で読んだことがあります。団体あるいは家族やグループで出かけますと景色や食べ物は現地で新しく経験できますが、グループ内の会話や情報交換が大部分を占めて地元の人との会話はほとんどできませんね。ただ、どこそこへ行ってきただけになります。現在の世の中では 旅行会社が大量の情報を流していますので その中から自分の目的 にあった旅行を選び 電話一本入れれば国内でも海外でも割安な予算で連れてってくれます。外国語が全くできなくても海外旅行

がたやすくできる時代です。関のような田舎？であっても殆どの人が海外旅行経験済みではないでしょうか！いまから30年ほど前は 新幹線に乗ったこと無い、東京へ行ったことない という人がずいぶんおりました。海外旅行に至っては、経験者は会社の仕事で経験がある人はいましたが、一般のおじいさん、おばあさんでは皆無といってよいほどでした。50年前となると海外旅行経験者は数えるほどしかいなかったかと思えます。戦後、一般人の海外渡航は特殊な例は別として禁じられていました1951年調印、1952年4月28日発効されたサンフランシスコ講和条約調印の後、ようやく一般人(ビジネスに限り)の海外渡航が許されましたが、ビザの取得の困難さや、情報の不足(旅行社がほとんど存在しなかった)、そして当時の日本人にとって考えられない高額な航空運賃、持ち出しドルの制限などがあり昭和30年代半ばまでは一般人では到底海外行は無理でした。昭和40年代半ばすぎると日本の高度成長によりドルと日本円の為替レートも変わり航空運賃もさがり、昭和45年(1970年)にはジャンボジェットの登場により世界的な大量輸送が可能になり、ビザの条件も簡単になり、なんといいともいわゆるパッケージツアーが販売されるようになり旅行会社もどんどん出来て今や誰でもいつでも海外へ行ける時代になりました。見知らぬ土地へ行く(旅行)ということは、とても怖いかもしれません。半面ワクワク感もあります、何回も行くにつれ慣れてしまえば、また次は変わったところへ行きたいと思うようになるのではないのでしょうか。さて、私は20代から海外は毎年のように行っておりますがビジネスでヨーロッパへ特にドイツへ行くことが多かったのですが、前途のサンフランシスコ講和条約の発効を待ってすぐさま米国に旅立った海外旅行大好きのお父さんのカバン持ちで毎年のようにドイツ、英国に行ったものです。そのうち父が行かなくなったので独りでドイツの取引先を訪ねるようになり、一人旅の気ままさを覚えました。ヨーロッパ旅行は航空会社をあえて毎回違う会社にして経験を楽しんでおりました。ヨーロッパ旅行は30回ほどでしょうか。最近では毎年とは行きませんし、もう3年行っておりません。そんな中で忘れられない旅があります。4年ほど前、ドイツはゾーリングゲンの取引先が高齢で子供もないので会社閉めることになり、もう1社も子供がなく数年前に会社を同業社に売ってその会社の相談役になっていました。前者はお客で40年の付き合い、後者は機械メーカーで父の代(1952年から)からの付き合いで、個人的にも大変親しい仲で 締めくくりの挨拶になるかとドイツを訪ねることにしました。もちろん一人旅です。エアラインは中部国際空港からダイレクトで最近使っているフィンランドエアです。ヘルシンキ経由デュセルドルフ往復です。最初のトラブルは、関からタクシーで名鉄岐阜駅へ 岐阜からセントレアへ、セントレアでカウンターチェックイン済ませて、いざ登場ゲートへ向かうとしたとき、財布がない!!!と気が付いて、落としたりすられた? どっかに忘れた?とパニックに!電車のシート?電車はすでに岐阜へとって返しているが、電車の号車とシート番号を覚えていたのでセントレア駅の事務所へ問い合わせ、しばらくして、無かったと答え。はて?電車を降りて直ぐ改札前のトイレ行った、トイレに戻って見たが無い!出発時刻がどんどん迫る!どうしよう。財布の中に日本円15万、クレジットカードが会社用と個人カードの2枚。女房殿に電話。彼女いわく「どっかに置き忘れじゃないのお?」うーん?彼女は、名鉄電車新岐阜駅に電話、そして「あった」「あった!新岐阜駅に」いまからタクシー飛ばして取りに行く?でも、とても飛行機の出発時刻に間に合わない。どうしよう??幸いパスポートは上着の中、そして、なぜか内ポケットに2000ユーロ現金。出発時間は迫る。限界!えーい!昔からの知り合いに会うのだから何とかなんと出発!デ

ュセルドルフのホテルへ到着。前払いで1泊分払ってあるが、チェックインで「クレジットカード見せてくれ」というが無いと答えると、怪訝な顔になる。海外ではクレジットカードを持ってない旅人は信用されません。迎いのドイツ人との待ち合わせまで時間があつたのでホテルから出て散歩したのだが、道に迷ってしまい、困ったところに雨まで降り出す。迷ってもタクシー乗れば良いと考えが甘かった。雨で中々タクシーがつかまらない。焦るあせる。何とか捕まえてギリギリ約束の時間にホテルに戻れた次第。ゾーリングゲンに2泊して旧交を温め、空港まで送ってもらいましたが、早く着きすぎて、ロビーで待っていたところ、カメラがないのに気付き、赤ちゃん用トイレでスーツケースひっくり返し調べたが、無い。泊まったホテルに電話。まだ掃除してないから待ってと返事、一時間後、「あつた」と返事。日本へ送ってと頼む。やれやれ。トイレに行きたくなって行ったら清掃中の看板、しばらくして、行ったらまだ清掃中。困っていると紳士然とした男性が、隣の障害者用なら入るとアドバイス、そこは電気の大きなドアでカートごとは入れたので乗り入れ、壁に向かって小用して振り向いたら、小さいカバンが無い。大きなほうあり。そういえば私のすぐ後に胡散臭い男二人が入ってきた。ああヤラレタ!カバンを盗まれました。すぐ出て見回しても後の祭り。清掃中の看板、指示した紳士、実行犯、みんなグルだったと後から思いました。腹が立つやら、悔しいやら警察に届けようと空港内派出所が見つからない。ただ、今回小さいカバンには貴重品は入れてなく、パスポートも現金もジャケット内ポケットに入れていて助かった。そこへ男女二人の警官が通りかかり、今カバン盗まれた。と訴えたら、届け出すかと言われたが、飛行機の時間があるので諦めました。その警官いわく、あんたのような盗難被害は今日で18件。昨日は20件あつたと平然と言う。俺はこんなこと初めて、ドイツ人を信頼していたのに!と訴えて スーツケース一つで経由地のヘルシンキへ。お金が少なくなってきたので、ヘルシンキ空港でホテルまでのタクシー代を聞いた。タクシーは60ユーロ、バスは8ユーロ。迷わずバスを選択、ホテル代は何かカバーできて、女房殿に電話して、今回はお金ギリギリで土産なし。と伝える。二度あることは三度あり。こんな大変な海外旅行は初めてでありました。帰ってから 周りから、もう歳なのだから一人は無理とたしなめられました。また、ケガとか体に被害はなくて良かったという意見もあり、最近では健康状態が旅先で急変したら、とも思うようになり一人旅もそろそろ終わりかなと思っています。

私の旅行失敗談、これから国内、海外で活躍される皆様の参考になればと思います。

◆幹事報告

◎関RC 例会変更のご案内

《変更前》

《変更後》

11/5 (火) 安桜山整備事業 ⇒ 同日 50周年実行委員会
11/29 (火) 50周年実行委員会 ⇒11/27 (日) 安桜山整備事業

次例会のご案内 9月27日(火) 12:30
「50周年委員会・記念事業部門」
担当: 50周年実行委員会

例会: 毎週火曜日 12:30

例会場: 岐阜県関市本町 6-20 大垣共立銀行関支店2F

事務局: 岐阜県関市平和通 7-10-25 アメリカ 2F